

資料 2

令和8年1月29日
令和7年度第2回
千代田区地球温暖化
対策推進懇談会

千代田区環境配慮行動の 普及啓発キャンペーン

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

- 環境問題への意識を高め、**行動変容**を促すことを目的。
- 個人向けと事業者向けの宣言を創設。
- 千代田エコシステム推進協議会と区が共同で実施。
- 区内主要企業、町会、大学、NPO、団体などと連携。

エコにゃレンジャー



全体像

Youtubeの番組になりました！
[イコト! SDGs!!「千代田区SDGs
『ちよエコヒーロー宣言』キックオフ!!」](#)

対象		事業内容
個人 (区内在住・ 在勤 ・在学者)		「 ちよエコヒーロー宣言 」の普及
区内事業者	全体	「 ちよエコ未来企業（事業者）宣言 」の普及
	主に中小企業	「千代田エコシステム」はじめ環境マネジメントシステムの普及

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

宣言制度

個人向け

ちよエコヒーロー宣言

区内在住・在勤・在学者対象

- 区ポータルや専用フォーム上で宣言を登録。
- 宣言内容：次ページの宣言の項目からできることを **7つ以上登録し、実践。**
- 登録特典：
 - ・ メルマガの定期配布（区主催及び民間や日比谷公園等のイベント情報等）
 - ・ 区等のイベントへの優先参加権
（外濠見学会、高山市・孺恋村ツアー、子ども向け生きものの講座、外来生物体験学習、自然観察会等）
 - ・ 宣言ロゴを使用可能



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

個人向け宣言

千代田区が掲げる**2050年ゼロカーボン及びゼロ・ウェイスト**、**2030年ネイチャーポジティブ**の実現に向けて、以下の行動の中から選択した項目（7つ以上）について、自主的かつ積極的に行うことを宣言します。

1. **電気を再生可能エネルギー由来のものに切り替えます**（Pikaでんきの利用等）。
2. 二重窓などの断熱改修、屋根置き太陽光発電設置や照明のLED化を検討・実施します。
3. **エシカル消費**（環境・人・社会に配慮した製品・サービスを消費すること）を行います。
4. 物を大切に使い、**ごみを減らし、分別を徹底**します。生ごみは極力減らし、水切りをします。
5. **食品ロス**を極力なくします（食べ残しをしない：飲食店での食べ残しは（mottECOなど）で持ち帰る、残すほど買わない、賞味期限に近いものを買う：手前どり等）。
6. 使い捨てプラスチックは使わず、マイバッグ・**マイボトルを携帯**します（mymizuアプリの利用等）。
7. 衣服は廃棄せず、リユース・リサイクルを行います。
8. 紙使用を控え、ペーパーレス化します。
9. 徒歩や自転車、公共交通機関を優先的に利用します。運転時はエコドライブします。
10. テレワークやオンライン会議などを活用し、移動に伴う時間やエネルギーを効率化します。
11. クールビズ・ウォームビズを実践します。
12. 自然ふれあいイベントに参加し、**自然を守ることにつながる上記行動を実施**します。
13. この取組みをほかの区在住・在勤・在学者にも勧めます。

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

宣言制度

事業者向け

ちよエコ未来企業宣言／ちよエコ未来事業者宣言

区内事業者（企業、団体、町会、教育機関、官公庁等）

- 専用フォーム上で宣言を登録。
- 宣言内容：次ページの宣言の項目からできることを **9つ以上登録し、実践。**
- 登録特典：
 - ・ ホームページに宣言した事業者をリストにして掲載
 - ・ メルマガの定期配布（区の環境関連補助金やEサイクルちよだ等の情報）
 - ・ 宣言したことを証する宣言書の交付
 - ・ 宣言ロゴを使用可能



環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

事業者向け宣言

千代田区が掲げる2050年ゼロカーボン及びゼロ・ウェイスト、2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて、以下の行動の中から選択した項目（9つ以上）について、自主的かつ積極的に行うことを宣言します。

1. 電気を再生可能エネルギー由来のものに切り替えます（Eサイクルちよだの利用等）。
2. 二重窓などの断熱改修、屋根置き太陽光発電設置や照明のLED化を実施します。
3. エシカル消費（環境・人・社会に配慮した製品・サービスを消費すること）を行います。
4. 物を大切に使い、ごみを減らし、分別を徹底します。生ごみは極力減らし、水切りをします。
5. 食品ロスを極力なくします（食べ残しをしない：飲食店では食べ残しは（mottECOなど）を導入する、小売店では残すほど買わないことや、賞味期限に近いものを買う：手前どり等を推奨する）。
6. 使い捨てプラスチックは使わず、マイバッグ・マイボトルを携帯します（mymizuアプリの利用等）。
7. 衣服は廃棄せず、リユース・リサイクルを行います。
8. 紙使用を控え、ペーパーレス化します。
9. 徒歩や自転車、公共交通機関を優先的に利用します。運転時はエコドライブします。
10. テレワークやオンライン会議などを活用し、移動に伴う時間やエネルギーを効率化します。
11. クールビズ・ウォームビズを実践します。
12. 自然ふれあいイベントに参加し、自然を守ることにつながる上記行動を実施します。
13. 省エネ診断を受診し、省エネ設備・高効率機器を導入します。
14. エネルギー消費量を記録し、CO₂排出量を把握します。
15. 千代田エコシステム、ISO14001、エコアクション21などの環境マネジメントシステムに参加します。
16. ヒートアイランド対策にもなる、緑化やレインガーデンの設置に努めます。
17. この取組みを他の区内企業にも勧めます。

環境配慮行動の普及啓発キャンペーン

環境配慮行動宣言の実績

◆環境配慮行動宣言の宣言者数（R8.1.7時点）

環境配慮行動宣言	宣言者数
①ちよエコヒーロー宣言（個人）	440
②ちよエコ未来企業宣言／ちよエコ未来事業者宣言	47

◆周知

日にち	周知イベント
R7.4.24	ちよエコヒーロー宣言キックオフイベント
R7.5.19	ちよエコヒーロー宣言区職員向け説明会
R7.6.26	ちよエコ未来企業宣言／ちよエコ未来事業者宣言キックオフイベント
R7.7.22	ちよエコ未来企業宣言東京商工会議所千代田支部加盟事業者向け説明会
R7.9.27	再エネの日（ブース出展）
R7.10.31	第9回食品ロス削減全国大会 in 千代田（ブース出展）
R7.11.8	ちよだ環境フェア（ブース出展）

千葉県匝瑳（そうさ）市との脱炭素社会の実現に向けた連携協定

◆匝瑳市との連携協定による取組み

▼連携協定締結の様子



▼ソーラーシェアリングによる有機栽培の様子



2025年7月5日、千葉県匝瑳（そうさ）市と千代田区は、「脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー活用等に関する連携協定」を締結し、千代田区は匝瑳市で盛んなソーラーシェアリングや有機農法の普及啓発に取り組んでいる。

▼12/8(月)富士見小給食(豚汁に匝瑳市産有機味噌を使用)



2025年12月8日(月)「オーガニックの日」を中心に、全区立小学校・中学校・中等教育学校にご協力いただき、匝瑳市のソーラーシェアリングの下で有機農法により栽培された大豆が原料の有機味噌を学校給食に提供した。

RE Actionへの千代田区の加盟

- 千代田区は遅くとも**2030年度に再エネ100%**を目指し、RE Actionへの新規加盟を発表。**23区では初めて。**
- 2030年度を目標としていること、現状の**再エネ導入率82%**はともに**自治体でトップクラス。**



■再エネ100宣言 RE Actionとは・・・

企業、自治体、教育機関、医療機関等の電力需要家が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示すことで市場や政策を動かし、社会全体の再エネ利用100%を促進する枠組み。

再エネ電気の一般家庭向け共同購入事業の開始

- 家庭からのCO₂排出の約半分は電気由来。電気の契約を**再生可能エネルギー100%のメニュー**に変えることでCO₂排出量を半減。
- 千代田区は3年前から「**Eサイクルちよだ**」という、連携自治体の再エネ電気をリーズナブルな料金で区内事業者に供給する仕組みを構築。
- 12月から新たに**家庭向けの共同購入事業「Pikaでんき」**の募集を開始。

表面



裏面



気候変動教育アニメの授業での活用

- NHKが**気候変動に関するアニメ教材**“Future Kid Takara”を制作。
- 1話約5分でテーマごとに全11話。専門家の監修を受けたワークシート付き無料教材。
- 10月31日に富士見小で授業を実施。

[「Future Kid Takara」ショートアニメ・シリーズ公式サイト](#)

- **11月8日15時から30分間**区民ホールで開催する「ちよだ環境フェア」にてNHKプロデューサー堅達氏の講演と上映会（一部）を実施。
- **1月13日14:30から**区民ホールで放映会と堅達氏（制作プロデューサー）の講演を実施。（**42名**が参加）



食品ロス削減全国大会：千代田区キャンパスコンソとの連携

食ロス削減について大学生の提言を2回のワークショップを通じてまとめ、全国大会の展示を実施。ブース説明員として、ワークショップに参加した大学生に当日も対応してもらった。

展示ポスター：右図

➤ 如何に多くの人に知ってもらおうかというのが共有の課題意識。そのために、アプリやシールといった啓発活動を提言。

➤ 今後も食ロス削減のための活動を継続して実施する予定。

※千代田区キャンパスコンソとは？

千代田区内の徒歩圏にキャンパスを持つ6つの大学（法政大学、専修大学、大妻女子大学、共立女子大学、東京家政学院大学、二松学舎大学）が参加したコンソーシアムで、千代田区と連携協定を結んで様々な活動を一緒に実施している。



富士見小でのごみゼロゲームの実施

- “ごみゼロゲーム”はどのようにごみを減らせるか、リユースやリフューズ等の具体的な方法で考える**体験型ボードゲーム**。遊びながら楽しく自分ごと化可能。
- 9月12日に富士見小学校4年生全員を対象に実施。
- 教員向けの授業スライドや台本が完備されており、教師の負担を軽減し、授業に組み込みやすいという特徴。

「ごみゼロゲーム」 Zero Waste Japan



▲出典：ごみゼロゲーム/Zero Waste Japan
<https://zwjapan.org/service/gomizero/>



▲2025/9/12に富士見小学校で実施した時の様子

ネイチャーポジティブ宣言への登録

- 令和6年3月に改定した「ちよだ生物多様性推進プラン」にて、2030年ネイチャーポジティブ実現を宣言。
- 環境省においても、様々なステークホルダーからネイチャーポジティブの実現に向けた宣言を募集していることから、宣言を登録。
- 9月30日に環境省が主催する、「自然共生サイト認定式」において、ネイチャーポジティブ宣言に登録したことを発表。

◆宣言内容

1	自然共生社会を意識した行動を浸透させるため、「ちよエコヒーロー宣言」及び「ちよエコ未来企業宣言」を普及し、宣言No.12:自然ふれあいイベントに参加し、自然を守ることに繋がる行動を実施する人を増やします。
2	皇居の緑を核とした生態系ネットワークを形成・強化し、緑地や良好な水辺の創出を図ります。
3	自然を活かした多様な社会課題の解決のため、自然の機能を活用した防災・減災・ヒートアイランド抑制や生物多様性を活かした快適な都市づくり等を進めます。



千代田区ネイチャーポジティブ宣言

千代田区は、2030年を目標に
自然を回復軌道に乗せるため、
都心千代田区ならではの
「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた
取組みを区民、在勤者、在学者、
そして団体や企業など
多様な主体とともに、推進することを
宣言します。

千代田区長
樋口 高顕

地域で目指す姿

地域として目指したい姿：啓蒙だけでなくアライアンス形成して地域全体で活性化

千代田区・千代田エコシステム推進協議会

啓
発

個人向け宣言事業
(ちょエコヒーロー)

企業向け宣言事業
(ちょエコ未来企業)

アクション化

アクション化

行
動

千代田エコシステム認証
(環境配慮行動のPDCA)

Eサイクルちよだ
(再エネ導入)

削減目標の実行を
助ける簡易的な伴走ツール

削減目標の達成に
最も大きく貢献する手段

地域アライアンス

継続した
勉強会・交流会

ちょエコ未来企業スクール
【削減目標の策定】

地域企業の脱炭素化支援
【参加企業/支援組織から相互に】

協働プロジェクト創出
【卒業生や支援組織とコラボ】

発信・記者会見
【千代田区内外への認知獲得】

脱炭素経営
支援体制
(CES会員)

千代田区

千代田エコシステム推進協議会

まち未来製作所

東京海上日動

千代田区商店街連合会

東商千代田支部

エコツツエリア協会

三菱UFJ銀行